

2017年3月期第3四半期 決算説明会 主要Q&A

Q：3Q期の対前年受注増（+43億円）の主な要因は？

A：業務ソリューションは、産業・流通・サービスで昨年度受注の大型の基盤案件（70億円弱）の反動減がありましたが、金融は横這い、公共公益で官公庁向け基盤関連で大型の受注があり約+110億円の結果、+42億円となりました。

サービスソリューションは鉄鋼向けが統合 Day2 の仕上げのタイミングのため約-20億円減少。一方、IT インフラは大型 VDI 案件があり約+20億円の増加と、合計では横這いの水準となりました。

Q：今期見通しの達成確度は？

A：3Q期まで、対前年増収、増益となっております。

年度見通しの売上高 2,230億円、営業利益 206億円を達成するためには、4Q期に売上高 643億円（対前年+22億円）、営業利益 55億円（対前年+5億円）の実現が必要です。

売上については、高水準であった昨年実績に対し、4Q期でも着実な積み上げを図り達成を目指します。また、営業利益については、昨年度4Q期に発生した一過性のPBOコスト（12億円）の反動はありますが、引き続きPJコントロールを徹底し、年度見通しの達成を目指します。

Q：今年度のクラウドビジネスの状況は？

A：昨年度は約120億円の規模でしたが、今年度はabsonne 関連を中心に130億円+αを目標としております。上期決算時点で62億円まで進捗しており、3Q期も順調に推移しております。

以 上